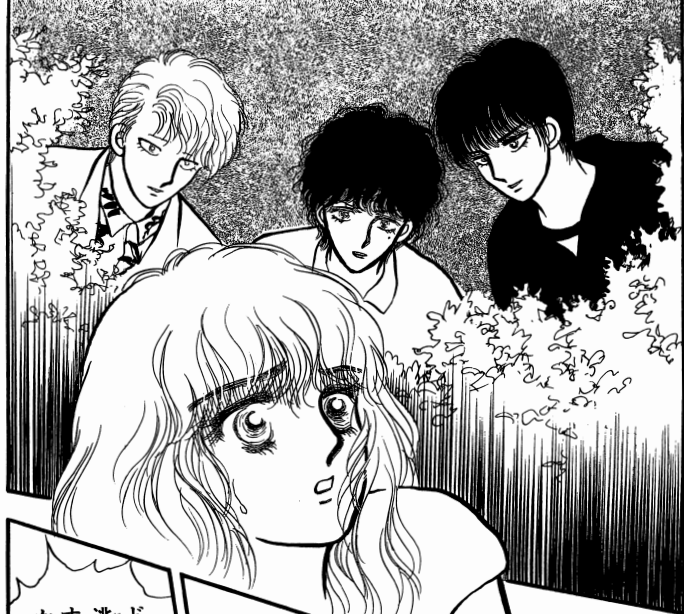


銀の鬼 〈第六卷〉

茶木ひろみ

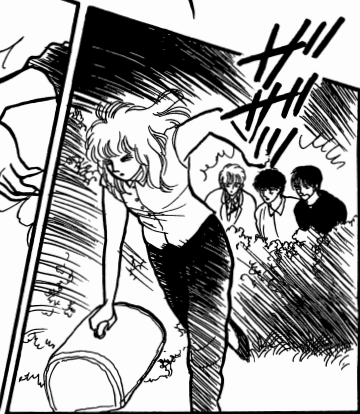


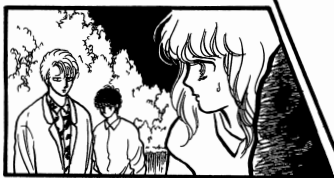


どうして
逃げるんだよ
すぐ会いた
かったんだぜ



待ってくれよ
ふぶき!!







じゃ
知ってるの!?
十年はどこに
いるの!?

おしえて

ふぶきさん
このまま 近松と
丘の上町へ帰って
くれないか

つらいだろう
けどしよせん
無理なんだよ
鬼とくらす
なんて

あいつは千年の間
ひとを殺しては
その心臓を食って
悪いことのかぎり
をつくしてきた鬼だ

きみには命を
助けられて
きみが悲しむ
ようなことは
したくないけど
これだけは
だめだ!

おれはこの
末くんと
いっしょに
島影を
殺す

むかし
おれの母親を
殺したのも
あいつだったん
だ!!



そう…十年は
悪い…鬼だ

でも
なにかが…

十年は
なにかがちがう
残忍^{げんじん}なだけだった
青い鬼^{あおいおに}とは
なにかが…

それがなにか
まだよくわから
ないけど…



それだけを
信じて
ここまで
きたんだ…



ふぶき
あいつのことは
忘れろよ
おれといっしょに
帰ろう



ふぶきさん
新幹線の
ホームで
きみをみて
そのあと
末^{すえ}くん^{くん}に会って
そのまま島影^{しまかげ}の
いるところへ
いくことも
できたんだよ

でもなぜ
そうしないで
ここへきたか
わかるか？

おれたち
みてられないんだ
あんな化け物に
必死^{ひっし}になつて
きみを

それでなんとか
近松^{ちかまつ}と丘^{おか}の上町^{うえまち}へ
帰るようもういちど
きみを説得した
かったんだよ

おねがい
わたしを
十年^{とね}のところへ
つれてって
もう絶対に
ひとを殺したり
させないわ!

ふたりで
誰もいない
ところへいつて
くらすわ!

!! おねがい

!! おねがい
幸二^{きうじ}さん

!! 近松^{ちかまつ}くん

!! 流^{なが}くん

だめだ
ふぶきさん
このままきみが
近松^{ちかまつ}と帰って
くれないのなら
しかたがない

おれたちは
このままきみを
おいていく

十年^{とね}は
わたしは
殺すわ

このままわたしと
はなれてくらせば
十年はいつまた
悪いことするか
わからない

だったら
いっそ
わたしの手で
十年を…

前から…
前からそう
決めてたのよ
わたし…

わたしは十年を
生きかえらせて
しまったけど
十年がもしまたこんど
ひとを殺すような
ことがあったら

わたし…
十年を殺そうって
……
いったでしょ
流くんに

ふぶきさんに
そんなことは
できないよ

幸二さん
ぼくたちだけで
いこう

ん…

ぎりぎりの
気持ちで：
毎日ぎりぎりの
気持ちでくらし
てきたのよ

絶壁^{ぜっぺき}に
立たされた
気持ちで
いつも十年^{とね}を
みてきたのよ

いつも

殺すとき
は：
わたしが
殺すわ





十年がわたしに
ハラたてて
あんなにくまれ口
きくのも無理
ないわね

お姫さまの
服きて歩いてる
ブス女

ちがうわ
十年は
おこつてる
のよ

十年の気持ちも
わかつてあげ
なきゃ

いつたい
どうしたら
わたしに心を
ひらくのかしら

どうしたら…

きれいな
だけじゃ
だめ

この海の
ように
ひろい心で
あのひとを
ゆるさない
と…

ブライドも
すてて

あのひとに
つくさなきゃ…

そうよ
こんな
かんたんなことが
どうしてわからな
かったのかしら

十年……

十年

ごめんなさいね
こんなこと
して……
痛む？

このナワを
といてくれ

ね
なにか
してほしい
ことない？
なんでも
いって

それはだめよ
あなた
帰っちゃうから

なにか
食べたい
ものはない？

女の心臓が
食いたい
血のしたたる
やつ

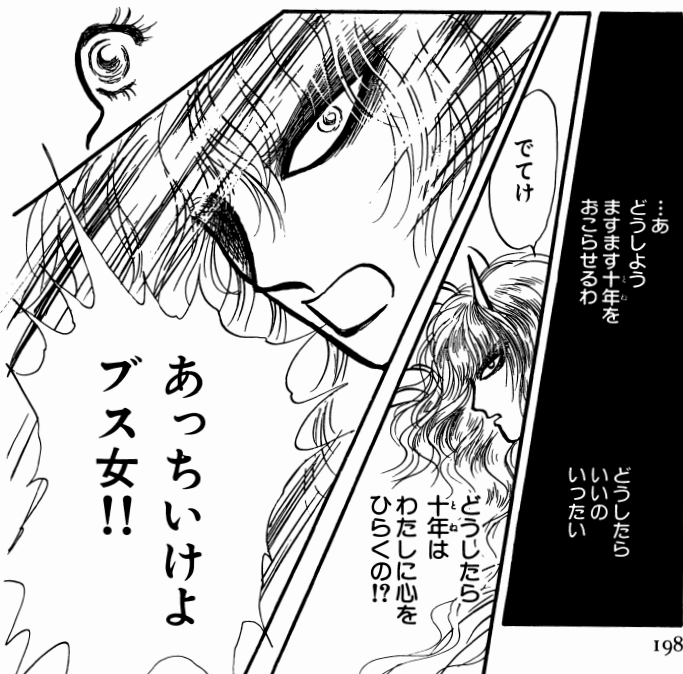


…また
そんなこと
いつて

今
なんでも
いえって
いったじゃ
ないかよ

無理な
ことも
あるわ

うそつき女!



…あ
どうしよう
ますます十年を
おこらせるわ

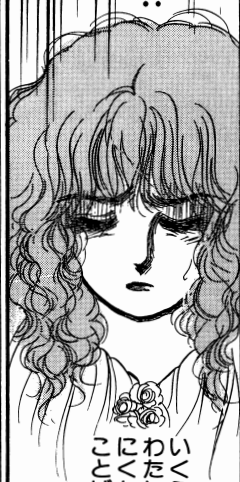
どうしたら
いいの
いつたい

でてけ

どうしたら
十年は
わたしに心を
ひらくの!?

あっちいけよ
ブス女!!

やめて!!



いくら
わたしを
にくんでいつてる
ことばでも…

きりいよ!!

このところ
気をうしなう
ことがある

体力が
どんどん
おちてる
ツノがない
せいだろうか

麗子の
やつめ
いまに
みている

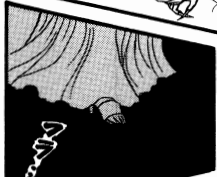


ふぶきのことが
気になる

あれつきり
笛はならないが
いつたいどうなったん…

キャ〜

…なんだ!?

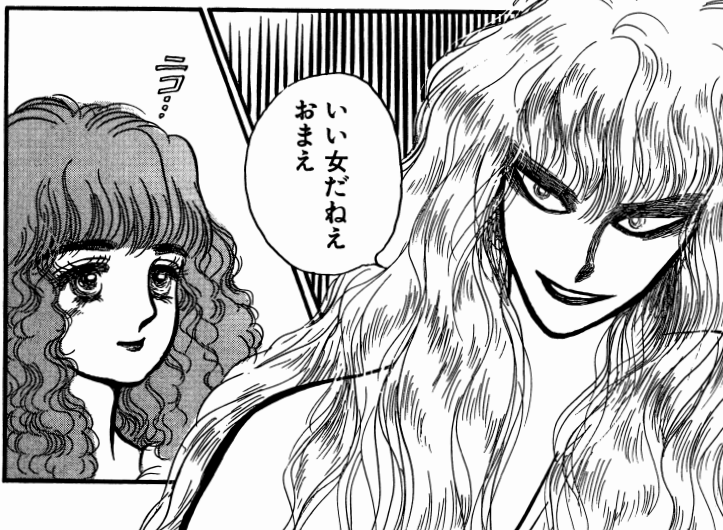
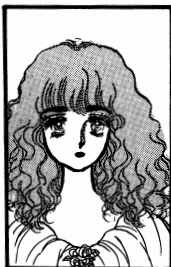




もってきたわよ
女の…心臓







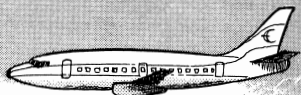
十年のためなら
なんでもするわ

もつともつと
やさしく
しよう

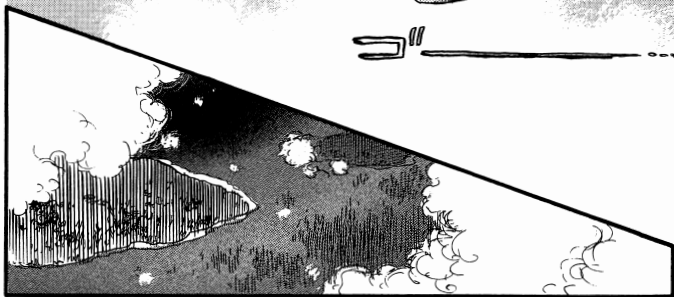
だつて
十年は
ほんとは
わたしのことが
好きなんだもの



わたしの
銀の…王子さま
フフ



コッ



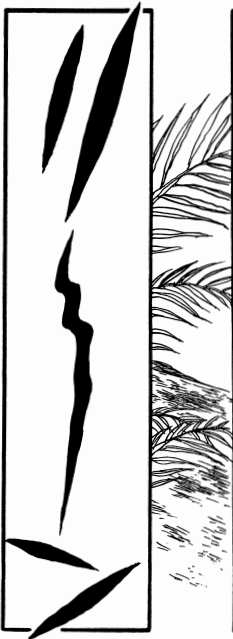
みえてきた
青い島…

どのあたり
なんだろう
十年がいるのは

もしここで
飛行機が海に
落ちても
泳いでたつて
いけるわ
あの島に

でもたぶん
きつと…
無事着陸
するわ

もうすぐ
必ず…



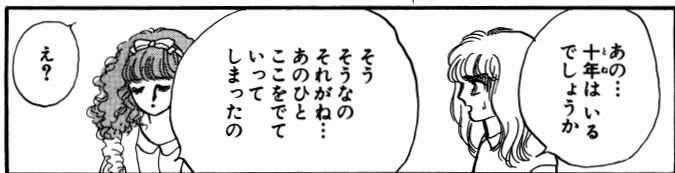




十年…
とうとう
きたわよ

あそこに
十年が…





わたしが
いけなかったのよ
わたししたら
世間知らずで
わがままで
しょう

でも
もしかしたら
じきにもどって
くるかも
しれないわ

とにかく
せつかくいらして
くださったんだもの
きょうは
ここに泊まって
いつて
ね?

みなさんも
いっしょに
どうぞ

わたしたちを
こんな
すんなりと
中へ入れて
くれるって
ことは

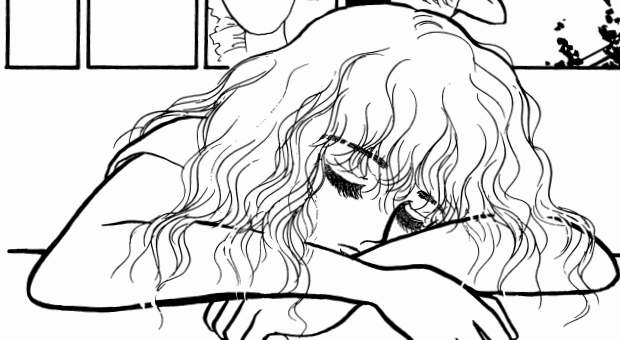
やつぱり
十年は
いないの
かしら!?

おれたちが
どういつもりで
ここにきたのか
気づいてるだろうに
みょうな女だ

ほんとに……
いないのか!?

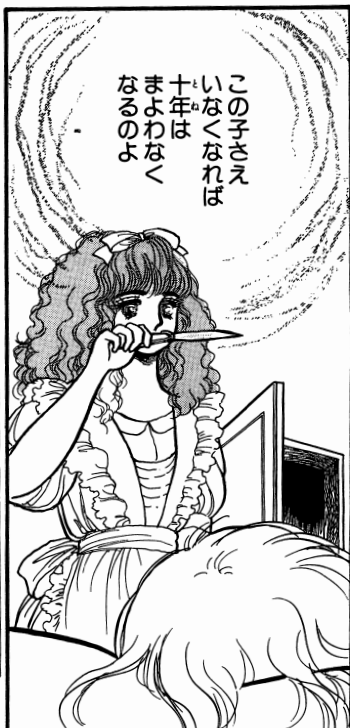
まあいい
あとで
ゆつくり
さがせる

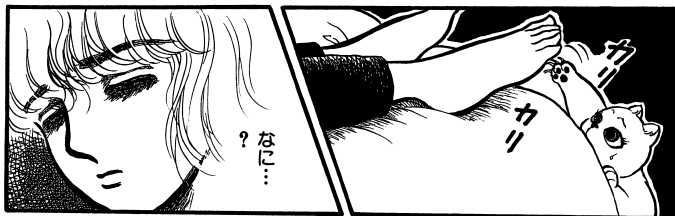




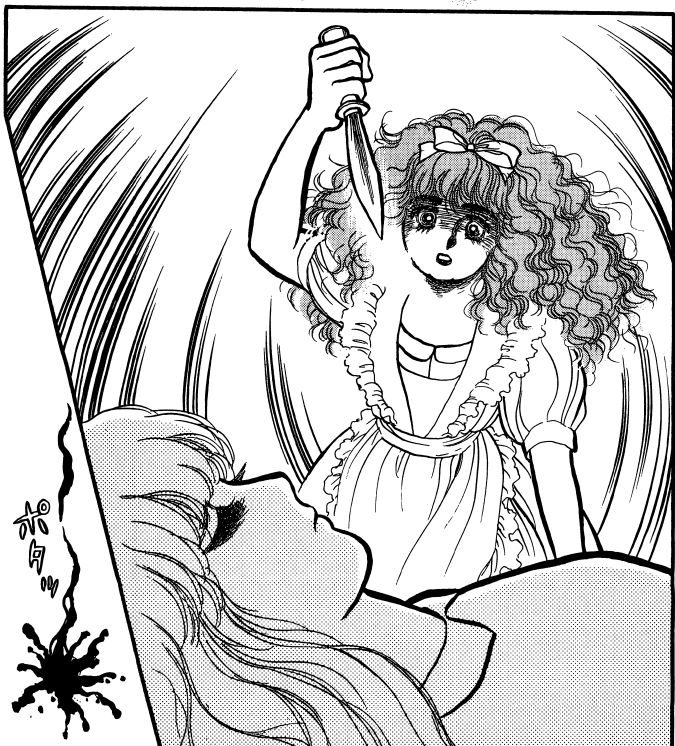






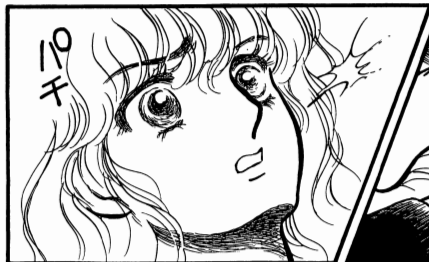
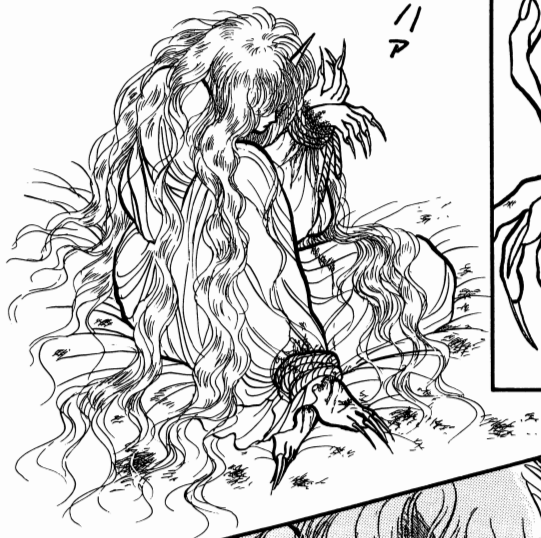


なんなの
くすぐつ
たい…



11
P

11
P





うわっ

れっ…麗子
さん!?
どうして…



待ちな
さい!!



絶対に
この家の中に
いるはずだ!!

十年は…
いるはずだ!!





トイレ
なんとして
いっておか
ない



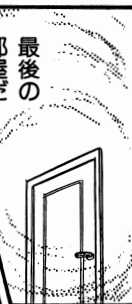
う~~~~ん



ふぶき
トイレかな



十年
……!!



最後の
部屋だ



十年

十年